

## NEWSLETTER



The James Joyce Society of Japan, Oct. 2017

## Topics

1. 第29回研究大会の報告
2. 常任委員選挙のご案内
3. 第30回研究大会について
4. 第30回研究大会、発表者の募集
5. *Joycean Japan* 第29号投稿案内
6. ジョイス関係の著作のホームページ掲載について
7. 「清水重夫先生とジョイス協会」
8. 事務局より

## 事務局連絡先

日本ジェイムズ・ジョイス協会  
事務局 〒420-0911  
静岡市葵区瀬名1-22-1  
常葉大学 外国語学部英米語学科  
戸田勉研究室内

(住所変更をされ、このNewsletterが転送で届いた方は、お手数ですが上記事務局宛までその旨お知らせください。e-mail可)

## メールアドレス

joyceanjapan(at)gmail.com

[ (at) を @ にして下さい。 ]

## 協会ホームページURL

<http://joycesocietyjapan.com/>



(グランドカナル：戸田勉 撮影)

## 1. 第29回研究大会のご報告

2017年6月10日（土）、京都大学文学部において第29回日本ジェイムズ・ジョイス協会研究大会が開催されました。

午前は、3名の研究発表、午後は、協会初の *Chamber Music* のシンポジウム “Listening to *Chamber Music*” と、復活祭蜂起100周年に合わせたシンポジウム 「『ユリシーズ』と復活祭蜂起」が行われました。研究発表においても、シンポジウムにおいても、活発な議論が行われ、実りある研究大会となりました。

総会では、昨年度会計報告と今年度予算案が承認され、次期会場、講演会、HP等の報告がありました。詳しくは、次ページ以降をご覧ください。

今回は京都での開催でしたが、40名以上の会員と多数の外部聴講者が参加されました。会場を提供していただいた京都大学文学部の関係者の皆様、ならびに大会の運営をお手伝いいただいた方々に心よりお礼申し上げます。

---

## 2. 常任委員選挙のご案内

---

下記抜粋の会則に基づき、来年（2017年）6月の総会では、2年任期の新常任委員が選出されます。事務局ではその候補者を、現在の常任委員会に推薦いたします。推薦のために事務局は、全会員による選挙を行い、上位得票者若干名を選出いたします。

常任委員は会則上「若干名」となっておりますが、慣例により9名で運営しております。今回の選挙でも、例年通り9名に投票をお願いいたします。

同封の投票用紙名簿の左欄に、9名を上限として、○をお付けください（10名以上に付けられた投票用紙は無効となりますので、お気をつけください）。

投票用紙名簿は、同封の事務局宛封筒に入れ御投函ください（御住所・御氏名は無記載でお願いいたします）。選挙期間は、本ニューズレター到着日より11月20日（月）までとさせていただきますので、どうぞよろしく御協力ください（11月20日消印有効）。

### 日本ジェイムズ・ジョイス協会会則（抜粋）

#### （役員）

- 第6条 この会に次の役員及び会計監査を置く。  
会長1名 常任委員若干名 事務局長1名 会計監査2名
- 第7条 会長、常任委員及び会計監査は総会において選出し、事務局長は常任委員の中から会長が指名し、会計の任にあたる。
- 第8条 会長はこの会を代表し、常任委員会を召集し、常任委員会の運営にあたる。常任委員会はこの会の活動の立案・組織・運営・および機関誌の編集にあたる。
- 第9条 役員及び会計監査の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。

なお、現在の常任委員は以下の8名の方々です。この7月に清水重夫先生がご逝去されたため1名欠員となっております。

浅井学、吉川信、須川いずみ、道木一弘、戸田勉、結城英雄、横内一雄、若島正

---

## 3. 第30回研究大会 日程と会場のお知らせ

---

来年で日本ジェイムズ・ジョイス協会は設立30周年を迎えます。現在、設立30周年を記念した企画を計画中です。第30回大会については、下記の日程と会場になりました。

**日時: 2018年6月9日（土）**

**場所: 法政大学市ヶ谷キャンパス**

\*プログラム等詳細は、例年通り2018年4月のNewsletterにてお知らせいたします。

---

#### 4. 第30回 日本ジェイムズ・ジョイス協会 研究大会 研究発表者募集のお知らせ

---

第30回研究大会は、上述の通り2018年6月9日（土曜）、法政大学市ヶ谷キャンパスで開催されます。つきましては、研究発表者を募集いたしますので、積極にご応募ください。

発表を希望される会員は、800字程度の発表要旨を添付のうえ、12月末日までに事務局へお送りください。e-mailでのお申込みも受け付けております。

発表時間は20分、質疑応答は10分程度を予定しております。

お送り頂いた発表要旨は、2018年1月に行われる常任委員会での査読を経て、採用が決定されま  
す（司会者もこの常任委員会で確定します）。要旨査読通過者は5月中に、司会者宛てに発表原  
稿をお送りください。応募者の方への詳細は追って御連絡いたします。

---

#### 5. *Joycean Japan* 第29号 投稿のご案内

---

例年通り、査読対象論文の投稿締切は11月30日（消印有効）となっております。今年の第29  
回大会で口頭発表された方々はもちろんのことながら、それ以外の会員からの投稿も受け付けて  
おります。

##### 論文投稿規程

1. 投稿資格は、会費を納入している会員が有する。投稿論文は未発表のものに限る。
2. 字数・書式についてはつぎのように定める。日本語の場合、**14,000字以内**（タイトル・  
図版・註・参考文献などを含む）。英語の場合、**5,500語以内**（タイトル・図版・註・参  
考文献などを含む）。日本ジェイムズ・ジョイス協会のホームページに掲げる、指定のフォー  
マットを使用し、13ページ以内とすること。  
\*日本語原稿の場合も英語原稿の場合も、半角で2,400ストローク以内の英文サマリーを  
添付のこと。註や参考文献の書式は、*MLA Handbook*の最新版に基づくことを原則とす  
る。
3. 11月末日までに、事務局に送付すること。e-mailによるファイル添付送信が望ましい。  
印字印刷を郵送する場合（当日消印有効）も、採用された論文については、後日デジタル  
情報の提出が求められる。
4. 著者校正は初校のみとする。

---

#### 6. ジョイス関係の著作のホームページ掲載について

---

学会誌に掲載する書誌情報とは別に、ジェイムズ・ジョイスに関連する新刊研究書を協会ホーム  
ページに掲載しております。

掲載を希望される方は、執筆者名／編集者名、書籍名、発行元、出版年を添えて、e-mailにて事  
務局アドレスまでお送りください。メールのタイトルは「ホームページ掲載用書誌情報」として  
頂ければ幸いです。もちろん、ハガキ・封書でのお知らせも承ります（\*掲載基準としてはジョ  
イスを中心とした研究書に限りますので、書誌の内容によっては掲載できない場合もございます。  
あらかじめご了承ください）。ご協力をお願い致します。

## 7. ジョイス協会と清水重夫先生

本協会の前会長清水重夫先生（早稲田大学教授）が去る7月9日に永眠されました。ご承知のように、清水先生は本協会の発展に多大な貢献をされました。1985年6月に「ジョイス懇談会」を当時中央大学の澤正佳先生と早稲田大学の鈴木幸夫先生とともに立ち上げられました。その後この会が母体となって日本ジェイムズ・ジョイス協会が正式に設立され、1989年6月11日に早稲田大学で第1回研究大会が開催されたわけですが、先生は創設時から事務局長を10年務め、協会の土台を築かれ、2002年から2012年までは会長として協会を牽引してこられました。また、「『ユリシーズ』精読の会」、「『フィンネガンズ・ウェイク』研究会」などの研究会を精力的に開催し、若手の育成に尽力されました。90年代は研究会の活動が活発化し、毎年、先生のお気に入りの甲府や伊豆の温泉で合宿が行われました。1997年に「ジェイムズ・ジョイス研究会」という名で松柏社から翻訳された『ジェイムズ・ジョイス事典』（A.N. Fargnoli & M.P. Gillespie, *James Joyce A to Z: The Essential Reference to the Life and Writing*）は、当時の研究会の大きな成果と言えるでしょう。また、Fritz SennやAnne Fogartyといった世界的なジョイス学者の招聘も先生の功績でした。

清水先生の教えの一つは、「テキストを徹底して読み込め」というものでした。ジョイスのテキストの一語一句にこだわり探究してゆく姿勢は、現在も*Finnegans Wake*のワークショップ等で使われる注釈のフォーマットに生かされています。テキストの下にplain readingという表層の意味を表した英語を付け、その下に意味の重層性に合わせた語注を並べ、最後に日本語訳を載せるという方法は、清水先生が長年の*Wake*との格闘の末に考案されたものでした。

もう一つの教えは、「本当のアイランドの姿を知れ」でした。アイランドをこよなく愛した先生は、留学中にアイランド語を学び、日本でも非常に数少ないマイナー言語の話し手でもありました。アイランド人の実際の生活感や土地の感覚を大切にされた先生は、ジョイス以外の作家も当然幅広く研究されてきました。演劇では、『現代アイランド演劇1-5』（新水社）、詩では、『現代アイランドの詩人たち』（敬文堂）、『ミホール・オシール詩集』の翻訳（七月堂）、小説では、ジョン・マクガハンの短篇集『男の事情、女の事情』の翻訳（国書刊行会）など、多岐にわたる業績を残されました。

来年設立30周年を迎えるジョイス協会の歩みは、清水先生と共にあったと言っても過言ではありません。先生が協会に傾けた情熱に改めて敬意を表し、その教えを胸に刻むと共に、ご冥福を心よりお祈りいたします。

“But Erin, list, his spirit may/ Rise, like the Phoenix from the flames, /When breaks the dawning of the day”  
（“Ivy Day in the Committee Room”）

（戸田勉）

## 8. 事務局より

会費未納の方は、協会の口座へのお振込みをお願い致します。お振込みの手数料は会員の皆様にご負担いただいております。

1. ゆうちょ銀行からのお振込みの場合  
名義 日本ジェイムズ・ジョイス協会  
口座番号（記号）10430  
番号1854541

2. ゆうちょ以外の銀行からのお振込みの場合  
名義 日本ジェイムズ・ジョイス協会  
銀行名：ゆうちょ銀行  
金融機関コード：9900 店番号：048  
預金種目：普通  
店名：〇四八店（ゼロヨンハチ店）  
口座番号：0185454